



2023年5月18日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
コード番号 8278 東証プライム
代表者名 代表取締役社長 尾崎 英雄
問合せ先 常務取締役 統合推進本部長
松川 健嗣

(TEL 089-922-8112)

2022年度当社取締役会の実効性に関する評価の結果について

当社は、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会の立場を踏まえた上で、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みとして、コーポレート・ガバナンス体制を構築し、「コーポレート・ガバナンス」の実現により、会社が持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のための自律的な対応を図ることで、会社、投資家、ひいては経済全体の発展にも寄与することを目的とすることを、コーポレートガバナンスの基本方針としております。この方針に基づき、当社取締役会は、取締役会の実効性について定期的に分析・評価をおこない、洗い出された課題に対する改善策を検討し、実施しております。

本日開催の取締役会において、2022年度の評価と分析結果から認識された課題の確認、並びに実効性を改善する取り組みを決定いたしましたので、その内容を下記のとおりお知らせいたします。

1. 評価方法とプロセス

(1) 2023年3月、取締役会議長を含む全取締役・監査役を対象に、以下を項目とするアンケートを実施いたしました。アンケートは、各項目の設問を複数の選択肢からの評価とコメントを記載する形式で、現状の実効性を把握するとともに課題を抽出いたしました。

- ① 取締役会の構成に関する質問
- ② 取締役会の運営に関する質問
- ③ 取締役会の議題に関する質問
- ④ 取締役会を支える体制に関する質問
- ⑤ 株主との対話に関する質問

- (2) 4月、アンケート結果に基づき、課題・改善策について取締役会で議論いたしました。
- (3) 5月、実効性の評価結果と改善策を取締役会で確認いたしました。

2. 分析および評価結果

- (1) 取締役会の構成は適切であり、その運営は適切に管理されています。
- (2) 重要な業務執行にかかる決定・監督において、取締役会で議論がなされており、取締役会はその役割・機能を適切に果たしています。
- (3) 一方、経営計画の自由闊達な議論の実施、議案の事前説明による理解の深耕、リスクの共通認識などの取締役会審議の質向上に向けた取り組みの強化、審議結果に対する進捗のフィードバック等を推進することによる取締役会の質と機能の向上を期待されていることを確認いたしました。
- (4) また、取締役・監査役に対する適切な情報提供、必要に応じた個々の取締役・監査役に適合したトレーニングを適時適切に実施することによる取締役会における審議の質のさらなる向上が期待されていることを確認いたしました。

3. 今後の取り組み

- (1) 取締役会は、中期経営計画策定にむけた審議を充実させるとともに、経営陣に必要な助言を行い、経営課題を解決に向けたモニタリング機能強化を推進してまいります。
- (2) 取締役・監査役に対して、その職責を十分に果たすため、経営の監督、監査を行う上で必要な「情報提供・支援」を継続的に実施してまいります。
- (3) リスクに関する役員全員が共通認識できる仕組みを構築してまいります。
- (4) 取締役会の審議結果に対する業務執行側の対応のフィードバックの仕組みを構築してまいります。

以上のことに取り組むことで、取締役会の「透明・公正かつ迅速・果断な意思決定」による「持続的な成長と中長期的な企業価値向上」に繋げてまいります。

以 上